

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称 H30信州長寿命の住まい

グループの名称 新しい住まいを考える会

直近採択グループ番号 06-0531-0383

(グループ代表者)

代表者名	岡江 正	代表者印
代表者所属先	有限会社岡江組	
代表者所在地	長野県安曇野市穂高4373	
代表者電話番号	0263-82-2300	

(グループ事務局)

事務局事業者名	征矢野建材株式会社	
事務局担当者名	永田 大樹	印
事務局郵便番号	399-0033	
事務局所在地	長野県松本市笹賀7116-1(征矢野建材本社内)	
事務局電話番号	0263-86-0250	
事務局FAX	0263-86-4461	
事務局担当者E-mail	d-nagata@soyano.com	

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		39	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	27	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		22	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	17	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		12	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	6	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		5	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	3	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸	
						上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸	
					その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸	
						上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸	
		高度省エネ型	認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		10	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸	
						上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸	
					その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		3	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸	
						上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸	
高度省エネ型		性能向上計画認定住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
高度省エネ型		性能向上計画認定住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		4	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		6	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	4	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		1	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		12	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	5	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		6	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	3	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積	1棟					
				198㎡					
			その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積	1棟					
				198㎡					
採択されたグループへの配分額により各施工事業者への配分額にグループとしての上限を設ける。 一部施工事業者への偏った配分とせず、未経験または経験棟数の少ない施工事業者の積極的利用を促す。									
E. 平成29年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	9	戸	交付申請戸数	9	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	9	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	3	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
採択戸数	6	戸	交付申請戸数	4	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	4	戸	
優良建築物型									
採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
採択床面積	0	㎡	交付申請床面積	0	㎡	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	㎡	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) H30信州長寿命の住まい	(地域型住宅供給対象地域) 長野県・山梨県・東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 新しい住まいを考える会	(結成年) 1998年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0531-0383	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】	◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	○
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	○
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	○
④①～③の背景	○
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	◎

イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】	◎、○ 記入欄
a	
①-1 用材の寸法規格化	■ 行っていない □ 行っている → 内容:
①-2 使用建材の統一	■ 行っていない □ 行っている → 内容:
①-3 標準仕様の設定	■ 行っていない □ 行っている → 内容:
②-1 建材・資材調達のコスト削減	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 共同化によるメリット、デメリットをグループ内で確認して検討します。
②-2 調達事務の合理化	■ 行っていない □ 行っている → 内容:
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 原木供給から施工事業者まで各生産工程の事業者が抱えている問題点や、課題を当事者間で検討できる場を設けていきます。
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	□ ない ■ ある → 内容: 各生産工程の事業者が、円滑に事業を進められるように意見の集約を行うことや、書類作成面での負担を軽減できるようなシステムを提案していきます。
b	
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	■ ない □ ある → 内容:
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	■ ない □ ある → 内容:
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	□ ない ■ ある → 内容: 見積項目の統一などにより見積もりの透明化を図り、お施主様の信頼性向上を目指します。
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	□ ない ■ ある → 内容: 構造・完成見学会などの現場公開や、工事進捗状況をWEBでの掲載やSNS発信などをすることで知名度を向上し信頼性の向上を図ります。
c	
① 週休2日制の導入の取組	■ ない □ ある → 内容:
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	■ ない □ ある → 内容:
③ 社会保険への加入	■ ない □ ある → 内容:
④ 安全及び健康の確保のための取組	□ ない ■ ある → 内容: 安全衛生委員会等の設置を検討し、グループとして現場の安全衛生に関する意識向上を目指します。
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) H30信州長寿命の住まい	(地域型住宅供給対象地域) 長野県・山梨県・東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 新しい住まいを考える会	(結成年) 1998年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0531-0383	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄	
a	① 住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループルールを確認するための項目をリスト化して登録する。	○
		①-2 情報サービス機関の活用	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅履歴情報管理は第三者機関のシステムを利用する。	○
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各機関にて登録した証明書の写しによる確認。	○
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 確実に点検を行っていくために自社管理ではなく、任意の第3者機関の維持保全管理システムを活用して定期点検を行う。	○
		②-2 補修の共通ルール	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
		②-3 点検補修実施の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 登録した維持管理システムの情報を事務局で確認できるシステムを検討する。	○
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 竣工引き渡し時に、施工事業者からお施主様に「住まいの管理手帳(戸建編)」をお渡しして、点検や手入れ方法などの説明を行う。	◎
		③-2 DIY体験会等の実施	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
		③-3 その他の相談会等の実施	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	④ 維持管理委員会等の設置	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事業実施後、改善提案などを行う場として検討委員会を設ける。	○	
⑤ その他の維持管理の手法	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:			
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 定期点検やメンテナンスなどを引き継ぐ事業者の選出や事業者間の調整を事務局が主体となってルール作りを行う。	○	
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各事業者が持つ情報を可能な範囲で公開して共有できる場を設けて、グループとしての技術力向上を目指します。	○	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	当事業をととして施工事業者自身にも維持管理の重要性や必要性を感じていただいて、自発的な実施を促していく。		○	

エ. グループの技術力の向上

【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 長期優良住宅や高度省エネ住宅などの施工基準勉強会を計画します。	○
	②-1 品質管理のための共通ルール	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	③-1 需給計画の策定	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 計画策定のためグループ内での営業力や技術力、品質の向上を目的とした勉強会を計画します。	○
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 未経験または経験棟数の少ない施工事業者への積極的利用を促し、グループ全体の技術力向上のため情報共有の場や勉強会などを計画します。	○
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 72 今年度の参加目標人数 20	○
	①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数 12 今年度の参加目標人数 20	○
	② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事業説明会にて講習会スケジュール、申し込み資料を配布します。	◎
c	① 新たな技術等の導入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 最新技術などを積極的に取り入れている事業者の現場見学会などを計画し、グループ全体としての技術力向上を図ります。	○
	② 新たな技術等の開発	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	BELS認証の取得を積極的に行う。		○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) H30信州長寿命の住まい	(地域型住宅供給対象地域) 長野県・山梨県・東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県													
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 新しい住まいを考える会	(結成年) 1998年													
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0531-0383														
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。															
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与															
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄													
a	地域材利用に関する														
①	共通 ルール(必須)	下記①②を満たすこと。 ①地域材(信州木材認証製品を主要構造部(土台・柱・梁桁)の過半以上に使用すること。【地域材加算上限20万円利用可】 ただし、過半に満たない場合は間柱・構造用合板(床・壁・屋根問わず)にて補足することができる。【地域材加算利用不可】 ②地域材を利用した内外装仕上げ材(床材・内外装壁材・天井材など)を10㎡以上使用すること。	◎												
②	地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上	◎												
③	標準的な地域材の使用部位(必須)	<table border="1"> <tr> <td>主要構造材</td> <td>土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>羽柄材</td> <td>間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>板材</td> <td>壁板、床板等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> </table>	主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	造作材	枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	板材	壁板、床板等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	◎
主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している														
	柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している														
	梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している														
羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している														
造作材	枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している														
板材	壁板、床板等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している														
④	地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	<p>地域材供給フロー図</p> <p>信州木材認証製品センター (信州木材認証製品の供給・流通の支援を行う) 及び 信州木材認証製品センター (信州木材認証製品の供給・流通の支援を行う)</p> <p>原木供給事業者 <5社></p> <p>製材・集成材・合板事業者 <9社></p> <p>プレカット事業者 <1社></p> <p>流通事業者 <1社></p> <p>設計事業者 (設計サポート) <3社></p> <p>施工事業者(新しい住まいを考える会会員) <26社></p> <p>新しい住まいを考える会グリーン化事業事務局 (事業全体管理・業務サポート)</p> <p>お施主様</p>													
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 信州木材認証製品センターや地域材製品の供給事業者との連携により、在庫量の情報共有ができる仕組みを検討する。	○												
	①-2 地域材価格の共有の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 信州木材認証製品センターや地域材製品の供給事業者との連携により、地域材価格の情報共有ができる仕組みを検討する。	○												
	② グループ全体における地域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 各事業者に対する調査シートにより確認する。	○												
c	①-1 畳の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:													
	①-2 和瓦の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:													
	①-3 襖の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:													
	①-4 障子の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:													
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 伝統文化の継承や地域経済の活性化を狙い、積極的に活用する。	○												
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 伝統文化の継承や地域経済の活性化を狙い、積極的に活用する。	○												
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 伝統的な建物から学び、現代建築に取り入れられるデザインを検討する。	○												
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 先人の知恵に学び、現代に活かせる住まい方をグループとして一般ユーザーに届ける取り組みを検討する。	○												
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 各地域の景観条例などを遵守して、美しい景観と融和した街並み形成を意識した住宅デザインとする。	○												
	④ 和の住まいの要素を取り入れた取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 地域の気候や文化に適した和の要素を積極的に取り入れる提案を一般ユーザーに対して積極的に行う。	○												
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。														
カ. その他															
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄													
東日本大震災の復興に資する取組	会として特段の取り組みはありませんが、事業者間での情報共有を行います。	○													
平成28年熊本地震の復興に資する取組	会として特段の取り組みはありませんが、事業者間での情報共有を行います。	○													

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域（必須）	<small>（地域型住宅の名称）</small> H30信州長寿命の住まい	<small>（地域型住宅供給対象地域）</small> 長野県・山梨県・東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県
2. グループの名称・結成年月（必須）	<small>（グループの名称）</small> 新しい住まいを考える会	<small>（結成年）</small> 1998 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0531-0383	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。		
<p>新しい住まいを考える会の高度省エネ型（認定低炭素住宅・性能向上計画認定住宅・ゼロ・エネルギー住宅）・優良建築物型は、下記工夫による快適な住宅及び建築物の供給を目指します。</p> <p>■グループとして高度省エネ型・優良建築物型についても長期優良住宅と同様に、長期にわたり良好な状態で使用できる措置（耐震対策・劣化対策・維持管理対策）に取り組むことを目標とします。</p> <p>■ゼロ・エネルギー住宅の目標値を下記とするが、2020年の省エネ基準義務化に向けてさらに高い水準を目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外皮平均熱貫流率 UA値(W/m²・k) 3地域:0.45 4地域:0.55 5地域:0.60 6地域:0.60 ・エネルギー削減率 Ro値(%) 25 <p>■ゼロ・エネルギー住宅は住宅版BELSの認証取得を必須とするが、その他高度省エネ型（認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅）及び優良建築物型についても認証取得により省エネルギー性能の表示に努めます。</p>		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。